



あすのつばさ

学園長：柳瀬 泰

会長：小山 雅巳

発行：広報部

三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会広報誌 (CS だより 28 号)

小・中の円滑な接続



三鷹の森学園CS委員会
会長 小山 雅巳

中学に進学した時に初めて強く感じる先輩後輩の関係や新たに出会った生徒同士の人間関係、また小学校からの勉強の難易度の上昇などによって生じる「中一ギャップ」。結果としてそれらに適応出来ずに不登校になったり、いじめを受けたり、近年そのような要因による不幸な事件、出来事をニュース等で耳にします。

三鷹の森学園では小・中一貫教育のもと、五小、高山小、三中の三校間での交流、小・中学校の先生方の乗り入れ授業などが学園発足時より進められています。

これらの対応により「中一ギャップ」で生じる問題が全てクリアされるとは思いませんが、私自身 8 年間のコミュニティ・スクール(CS)委員の活動を通しその成果を十分に感じる事が出来ました。

今後もCS委員が繋ぎ役となり地域の目、力を学校、そして、子どもたちに注ぎ 9 年間のスムーズな学園生活が送れるよう手助けが出来ればと思います。

2030 年世代の育成に向けて



三鷹の森学園 学園長 柳瀬 泰

今、私たちの目の前にいる子供は 2020 年の東京オリンピックを経て、2030 年以降の社会の担い手となります。予測困難な時代ですが、子供たちが自らの可能性を最大限に発揮できるよう、今こそ、学校と家庭と社会が三位一体となってその資質・能力を育む時だと考えます。

「三位一体の教育」とは「社会に開かれた教育課程」と換言できます。例えば「グローバル化」へ対応するには、学校で外国語を学ぶだけでなく、多世代や多民族の「多様性」を認めたり寛容したりする資質・能力が必要です。こうした力は小さい頃から地域社会と協働のもと体験を積み重ねることによって育ちます。もとより学校内の教育力だけでは限界があります。地域・家庭とともにある小中一貫教育校「三鷹の森学園」には、多くの人と触れあい、多様な価値観を育てるカリキュラムが 9 年間の間に数多く計画されています。

2030 年、三鷹の森学園で育った青年が、よりよい社会と幸福な人生の創り手として活躍してくれることに期待を抱いて、次代の要請に応える学園づくりを目指します。

平成 28 年度 三鷹の森学園で目指す重点

「子供たちの未来」について、家庭、地域と共に考え、 協働するコミュニティ・スクールを目指します。

～ 今年度の活動方針 ～

1 日 1 日子供たちのために精一杯取り組む。

緊張感をもってすすめて行く。

組織の活動を見直し、クリエイティブに活動する。

社会に開かれた学園・学校づくり

コミュニティ・スクールは地域とともにある学校づくりを進める上で大切な仕組みです。

保護者、地域の声を学校に届け、よりよい地域の学校をつくるために力を合わせましょう。そしてお互いが歯車のようにがっちりとかみ合ったとき、きっと地域を動かす大きな力を生み出すことでしょう。三鷹の森学園コミュニティ・スクールは各校の PTA、オヤジの会、父親の会、青少対、交通対、町会、住民協議会、消防団、民生児童委員、地域子どもクラブなど、子どもに関わる様々な地域、保護者の方々によって支えられています。



三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会広報誌「あすのつばさ」は、五小・高山小・三中の三校共通の学園歌「あすのつばさ」から引用しました。学園歌は、それぞれの学校において歌われ、愛されてきました。学園歌同様、この広報誌を通して、三校のつながりがさらに深まることを願っています。

今年度 各部の活動

◇ 評価部 ◇

今年度の評価部は新しい試みとして、「なぜ評価が必要なのか。」ということを保護者の方々に理解していただくために発信方法の改善に努めてきました。

今回「アクティブラーニングとは何か。」というコンセプトをもとに「アンケートに答えて見えてくる子育てのヒント」を打ち出しながら評価部チーム全体で一から資料を作り上げました。

三鷹の森学園コミュニティ・スクールがこれまで 8 年間の成果を検証するために、アンケートと共に配布したこの資料によって、まずは児童、生徒(小・中学校)のつながりや地域の連携というものが子供たちや教員側で肯定的な成果につながっていることを伝えていきます。

◇ 広報部 ◇

皆様に見ていただきたいこと、知っていただきたいことをより分かりやすく。これまでの「CS だより」を「あすのつばさ」として刷新しました。今後はホームページも活用し、学校行事など子供たちの学園生活について学校・地域・CS 各部と連携を取り、わかりやすくお伝えしていきます。

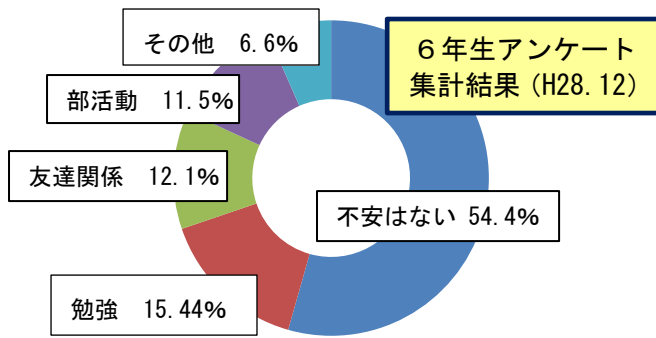
◇ 地域サポート部 ◇

昨年 12 月「英語交流活動～クリスマスパーティ～」を行いました。このイベントには小 5 から中 2 までの子供たちが 30 人近く参加しました。グループに分かれてマフィンを作ったり、伝言ゲームをしたりしました。もちろん会話やレクなどは英語です。最後まで笑顔が絶えず、楽しい時間を過ごせました。

花いっぱい運動では、地域・保護者の方々にもご協力いただき、児童・生徒共に色とりどりの花を植えることができました。

ソフトバレーボールは現在活動中のイベントです。2 月の大会に向けて一生懸命練習しています。応援よろしくお祈りします。





五小・高山小の6年生に聞きました ～中学校に向けて、心配なことや質問について、 三中生、三中の先生が答えてくれました～



三中生徒会の皆さん

小・中連携活動を 一部紹介

三中生ボランティア



読み聞かせ

児童・生徒会交流



あいさつ運動



プレ中学校体験



理科

部活動体験



五小・高山小の6年生に聞きました。

- ① 部活と勉強の両立は難しそうな感じがします。コツはありますか？
- ② 先輩、後輩の関係は厳しいですか？どんなところに気を付けたらいいですか？
- ③ 違う学校（高山小、五小、その他）の人とはうまくやっていたいけるのでしょうか？

五小・高山小の保護者の方（PTA役員）に聞きました

- ④ 中学校での学習、生活へスムーズに対応するために小学生のうちから身に付けておいたほうが良い習慣はありますか・・・？
- ⑤ SNS等に関するトラブルが心配です。何か対策をとっていますか？

三中生が答えてくれました。

- ① 部活の活動日数によりますが、とにかく授業を真剣に受けることが大切です。家庭学習を「毎日1時間」と時間を決めて行うことをしています。定期考査一週間前は、諸活動が停止になるので、その時に集中して取り組んでいます。
- ② 三中生は皆優しいので心配ありません。あいさつを心掛けたり、先生や先輩には敬語を使うなど礼儀やマナーは大切にしてください。
- ③ 違う小学校の人でも、新しい友達をつくりたい！という気持ちは同じです。自分から積極的に話しかければあっという間にみんなと仲良くなれますよ。特に給食のときに仲良くなれます！

三中の先生が答えてくれました。

- ④ 部活動の朝練習や放課後も様々な活動があります。早寝早起きや朝食は必ず食べるなどの基本的な生活習慣を身につけておいてください。
- ⑤ 生徒会役員が「三中スマホ・SNS六か条（下部参照）」を考案して生徒への周知や、道徳の授業等で注意喚起をしています。

《三中スマホ・SNS六か条》

- その一 個人情報や人の悪口は容易に書き込むべからず
- その二 SNSのグループ内や家庭内でのルールを設け、トラブルを未然に防ごう
- その三 利用時間を決めて健康になるべし
- その四 課金をするときはまず、大人に相談すべし
- その五 ブロック・セキュリティをかけ、ウイルスをこらしめるべし
- その六 困ったときは周りの人に相談すべし



生活指導主任
黒田 英之 先生



生徒会担当
松永 光貴 先生

三鷹の森学園CS委員会では「子どもと交わすケータイ・スマホの使用契約書」を作成しています。ご活用ください。<http://www.mitaka-schools.jp/gosho-es/oshirase/20160617192101.html>